

## 平成 31 年第 1 回定例会は 2 月 25 日 (月) から

### ● 本会議・委員会の傍聴は気軽に

手話通訳を希望される方は、傍聴を希望する 2 日前までに府中市議会事務局にお申し込みを。車いす用の席もございます。

### ● 府中市議会についてのお問合せ

府中市議会事務局 議事係 ☎(042)335-4507

スマートフォンやタブレット端末をご利用の方は、右の二次元コードから本会議の中継をご覧いただけます。



詳しくは

### ● 第 1 回定例会 (主な予定) ●

【2 月】

25 日 (月) 本会議 (委員会付託等)  
26 日 (火)・27 日 (水) 本会議 (一般質問)  
28 日 (木) 総務委員会

【3 月】

7 日 (水) 市庁舎建設特別委員会  
12 日 (火) 本会議 (常任委員会報告等)  
13 日 (水) ~ 19 日 (火) 予算特別委員会  
22 日 (金) 本会議 最終日

※ 2 月 22 日の議会運営委員会で正式決定

## 市政のここが気になる ② 交通安全対策

「府中リベラル」で実施している市政アンケートの中から、「関心がある」と多くご回答いただいた項目を紹介いたします。

第 2 回目は「交通安全対策」です。

### ● 市は率先して交通マナーの啓発活動を

アンケートの回答では、歩きスマホや不法駐車、車両の逆走など、交通マナーを問う声が多く寄せられました。対策として、警察と市が協力して啓発活動を行うべきとの声も挙がりました。



### ● 事故を起こしにくい街のデザインも大事

府中市には、幅が狭い道や段差が大きすぎる道、樹木や建造物の影になって見通しが悪い道など、交通事故が発生する危険性の高い道が多く見受けられます。

市は交通マナーの啓発活動と同時に、市民の動線と安全を重視したまちづくりを進めるべきであると考えます。

市政アンケート実施中。スマートフォンやタブレット端末をご利用の方は、右の二次元コードからご参加いただけます。



詳しくは

## 稲津 けんご 略歴

1968 年北山町生まれ。西原町在住。府中七小、和光中、都立狛江高卒。米・南アラバマ大学学士号、米・ピッツバーグ大学院修士号取得。府中市議会議員 4 期目。

総務常任委員会、市庁舎建設特別委員会、議会運営委員会に所属。「府中リベラル」会派代表。

スマートフォンやタブレット端末をご利用の方は、右の二次元コードからも稲津けんご公式サイトにアクセス出来ます。



詳しくは

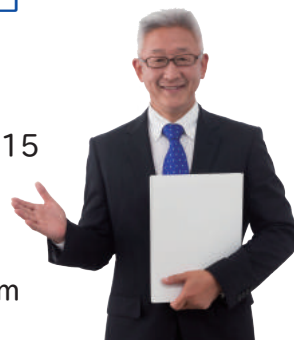
## お問合せ・連絡先

### ● 『府中リベラル 市政レポート』へのお問合せ

編集・発行 府中リベラル  
☎183-8703 東京都府中市宮西町 2-24

### ● 稲津けんご 市政相談窓口

稲津けんご事務所  
☎183-0041  
東京都府中市北山町 2-26-15  
☎(042)806-9777  
FAX (042)806-9770  
✉ inazu.kengo@gmail.com



## 府中リベラル 市政レポート

府中市議会議員

# 稲津 けんご

2019 年  
1 月号



### 今号の主な項目

- 1 面 府中リベラルタウンミーティング大盛況
- 2 面 【一般質問】府中市の「防災都市づくり」の今
- 3 面 【議運委】議会基本条例は誰主導で作られるのか?
- 4 面 市政のここが気になる ②交通安全対策

## 議員の真価が問われた第 4 回定例会

府中市議会第 4 回定例会が、12 月 3 日から同 18 日までの日程で開催されました。

4 日の一般質問で稲津けんごは「北山町・西原町のまちづくり」について、市の見解と今後の見通しを問いました。また、市に対して、防災都市づくりに向けて草の根レベルで地域住民との対話を進めるよう求めました。

本定例会では、市長提案の議案 17 件、市民からの陳情 8 件、議員提出議案 2 件を審議しました。これらの審議の中で「議会と議員の役割」を考え、自身の政治的立場を明確にし、議論を進める場面が非常に多く、これまで以上に「議員の真価」が問われる定例会となりました。

### ● 第 4 回定例会 主な活動 ●

【11 月】

30 日 (金) 議会運営委員会

【12 月】

3 日 (月) 本会議 (議案の委員会付託等)

4 日 (火)・5 日 (水) 本会議 (一般質問)

※稲津けんごは 4 日に登壇 詳細は 2 面へ

6 日 (木) 総務委員会

12 日 (水) 議会運営委員会

13 日 (木) 市庁舎建設特別委員会

18 日 (火) 総務委員会

本会議 (常任委員会審査報告等)

## 府中リベラルタウンミーティング大盛況

### ● 「市民の切実な声を直接伺う」ということ

11 月 5 日から 7 日までの 3 日間、府中リベラル主催のタウンミーティングを府中市西原町、武蔵台、北山町で開催し、多くの方にお越しいただきました。

質疑応答では、本定例会でも議論された公民館有料化の問題や道路の新設、通学路や横断歩道の確保など、身近な問題が次々に挙げられました。質問に対してゲストと稲津は、現状や課題、対策や予定などを提示しながら、切実な声を受け止めていきました。



◀ 5 日 (西原町) のゲストは菅直人衆議院議員。現在の国政 (国会の審議状況) と日本の将来について語られました。

▶ 6 日 (武蔵台) のゲストは高野のりお府中市長。市長直々の市政報告は貴重なものでした。





## 【一般質問】府中市の「防災都市づくり」の今

### ●北山町と西原町が防災都市のモデル地域に

2018年は自然災害が非常に多い1年でした。府中市は現在、公共施設の耐震化や自主防災組織の立ち上げなど「防災都市」に向けた取り組みに力を入れています。また、避難経路の確保や延焼被害の防止などの課題にも取り組んでいます。

平成28年に東京都が示した「防災都市づくり推進計画」における木造住宅密集地域に該当することから、府中市では北山町と西原町が防災都市のモデル地域に選ばれています。

### ●町ごとの課題にどう向き合うのか？

平成30年6月に「北山町・西原町まちづくり協議会」が設立され、自治会や商店会、PTAの役員を中心に会合を重ねています。

北山町では主に商店街を走る道路(写真参照)の拡張について、西原町では都道建設によって分断される地域への対応などが議論されています。市からは今回、市民の要望を聞いた上で丁寧に対応していくとの答弁がありました。



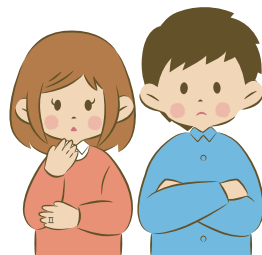
## 【本会議】夫婦の姓に「別姓」という選択肢を

### ●「望む名字(姓)を選べる」ということ

18日の本会議では議員提出議案「選択的夫婦別姓の法制化を求める意見書」の審議が行われました。稲津も「賛成者」に名を連ねました。

「選択的夫婦別姓」とは、従来の夫婦同姓(結婚後、夫婦は同じ名字に合わせる)と同様に、夫婦別姓(結婚後も以前の名字を使う)も選べるということです。

意見書は、この制度が認められるよう、政府に法改正を求めるもので、採決の結果、賛成多数で採択となりました。



### ●あくまでも「別姓と同姓の選択」

稲津は以前より、選択的夫婦別姓についての市民相談を受けていました。結婚後に名字が変わることで、公的資格の名義変更や実績の消滅などが生じる実情があります。名字の変更で自己を否定されたと感じるとなれば、人権問題と考えることも出来ます。

「選択的夫婦別姓」でも同姓希望であればその選択も可能です。別姓を希望しながら泣く泣く同姓を選んだ方への対応も含め、夫婦が互いを認め合える社会づくりが求められます。



## 【総務委】公民館使用料を改めて考える

### ●行政は何を見て方針を決めたのか？

6日の総務委員会では「公民館条例の見直しについての陳情」が審議されました。

これまで、社会教育団体や自主グループは市内公民館を無料で使用出来ましたが、平成31年1月から使用料が有料となります。この件については平成30年3月議会で議案が可決されましたが、市民の反対の声は根強くあります。

今回の陳情は「公民館をはじめとする有料化対象施設の有料化をやめていただきたい。減免措置の現状維持を求める」という内容でした。

### ●実態を知れば有料化には賛成出来ない

委員会の中で稲津は「3月議会では、利用する市民や団体に丁寧に説明して理解を深めるよう強く求めた上で議案に賛成したが、こうした陳情が出てきたのは、市の取り組みが不十分であるという市民の不満の表れだ。利用する市民や団体の理解が得られるまでは有料化を延期すべき」と、陳情への賛成を主張しましたが、賛成少数により不採択となりました。



## 【議運委】議会基本条例は誰主導で作られるのか？

### ●あえて問う「議員の本質とは何だ？」

12日の議会運営委員会では「市議会基本条例の制定手続きに関する陳情」が審議されました。この陳情は、現在検討中の条例案の閲覧期間を延長し、市民に説明と意見を聞く機会を十分に設けることを求めるものでした。

委員の中から「議員間で合意形成を進めた」「制定時期の変更は困難」などの反対意見が出ました。これらは、議員が市民の代表であることをどこかに置き、議員自身の考えだけで物事を動かしているとも解釈出来るものでした。

### ●あえて問う「市民協働とは何だ？」

稲津は委員会の審議で「今からでも閲覧期間を延長し、市民からの意見募集を続けることは可能。本陳情を採択して条例案の制定に向けた段取りを検討していくべきだ」と主張し、市民とともに条例を作り、まとめ上げていく重要性を述べました。

本会議でも議論は激しくなり、会派内で意見が割れた所もありました。残念ながら結果は不採択でした。



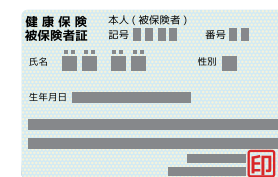
## 【本会議】国保税値上げは格差拡大を助長する

### ●セーフティネットとしての国保が揺らぐ

府中市が運営する国民健康保険(以下:国保)を一部改定する議案が、10日の厚生委員会の審査を経て、18日の本会議で審議されました。

今回の審議に先立ち市は、都道府県で運営する国保制度へ段階的に移行するため、今後20年かけて保険料を引き上げることを明らかにしました。

一方で市は、これまで低所得者対策の一環として市が出していた法定外一般会計繰入金を最終的にゼロ円にすることも表明しました。



### ●低所得者層をこれ以上苦しめるな

これらの措置から算出される保険料は、20年後に約2倍になるとされています。本会議で稲津は「国保に加入する被保険者の所得層は年収200万円以下の方が非常に多く、とても負担出来る金額ではない。事業運営が厳しいとは言え、所得格差問題が存在する現状を考えると、市が低所得者対策への姿勢を変えることは見過ごせない」と述べ、反対を主張しました。採決の結果、賛成多数により可決されてしまいました。



## 【総務委】オスプレイの危険や不安に市は…？

### ●市が中心となって出来る行動を

平成30年9月議会では、米軍の横田基地に配備されたオスプレイについて、住民の生活に影響を及ぼす懸念が払拭されるよう、政府として最大限の努力を怠ることなどを求めた意見書を提出することが全会一致で採択されました。

本定例会では、6日の総務委員会において「横田基地へのオスプレイ配備に際し府中市に対応を求める陳情」を審議しました。陳情の内容は、市が直接、横田基地に対して働きかけを行うよう求めるものでした。

### ●意見書から踏み込む姿勢を求める

陳情に反対する委員から「府中市は基地周辺自治体と状況が違う」「市職員が横田基地の米軍に要請することは無理である※」と発言。

一方、稲津の他、賛成する委員からは「先般、市議会としての意見書が全会一致で可決された」「米軍への要請自体は違憲ではない」との発言もありましたが、採決の結果賛成少数により不採択となりました。

